科目コード	2698315	授業概要	【授業内容】 災害時の支援のひとつに心理的支援があります。近年の東日本大震災や熊本地震、能登半島地震などを通し実際の心理的支援について概観します。心理的支援の基本となるサイコロジカル・ファーストエイドの紹介のほか、災害時の被災者の心理状態、時系列の心理的変化、災害の現場でどんな支援を行うのか、被災地の状況を理解し地域社会と協働することなど説明します。また、支援に入る準備や支援者の心理的ケアについても触れます。ここでは講義に加え、グループワークで話し合いを行いながら、それぞれの理解を深めていく予定です。 【到達目標】 災害時の心理的支援として用いられるサイコロジカル・ファーストエイドの目的と内容、使用方法を説明できるようになる。 災害時の被災者や支援者の心理について理解し、心理的支援の内容や支援体制を概説できるようになる。 災害支援を行うために準備することや心構え、セルフケアの重要性を説明できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 災害とは何か 第2回 災害時の心理的支援①アセスメントと支援体制 第3回 災害時の心理的支援②こころと身体 第4回 災害時の心理的支援③支援の実際 第5回 被災時の心理的支援①発災からの支援体制構築まで 第6回 被災時の心理的支援②さまざまな対応 第7回 支援者の心理 第8回 まとめ 【学生へのメッセージ】 さまざまな災害が世界各地で発生しています。2024年も能登半島地震で甚大な被害状況からの始まりでした。ここでは災害支援について、心理学の立場で説明をしていきます。尚、講義では災害時の写真等資料を使用予定です。人によっては不調を起こす可能性があることをお断りしておきます。 【受講前の準備学習等】 事前にサイコロジカル・ファーストエイドを確認しておいてください。（※ウェブサイトで見ることができます。）また、講義で取り扱う東日本大震災や熊本地震などの災害の情報は被災地県庁などのホームページで確認できますので、参考にしてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	熊本学習センター		
学習センターコード	43A		
クラスコード	K		
科目名	**災害支援の心理学**		
科目区分	専門科目：心理と教育		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	コガ　カヨコ 古賀　香代子 九州ルーテル学院大学人文学部教授		
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 10月25日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	熊本学習センター		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
			【その他（特記事項）】 心理的支援の基本の一つは多様性を理解することです。グループワークや意見のシェアリングを通して人との関わりによって起きてくることを体感することも今回の学習のねらいの一つとしています。

科目コード	2698366
学習センター	熊本学習センター
学習センターコード	43A
クラスコード	K
科目名	**地史・古生物学**
科目区分	専門科目：自然と環境
ナンバリング	320
定員	20名
担当講師	コマツ　トシフミ 小松　俊文 熊本大学大学院先端科学研究部教授
日程 実施時間	10月24日(土) 第1時限　10:00～11:30 第2時限　11:40～13:10 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 10月25日(日) 第1時限　10:00～11:30 第2時限　11:40～13:10 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 質問・レポート等　16:25～17:10
実施会場	熊本学習センター

授業概要

【授業内容】
生命の誕生後、生物は放散と絶滅、回復を繰り返しながら進化を遂げてきました。この授業では主に化石記録に基づいて顕生累代以降の生物の出現や放散，絶滅および大量絶滅とその後の回復過程などに注目して授業を進めます。授業の前半は特にカンブリア紀の生物の出現やオルドビス紀の海洋生物の放散とオルドビス紀～石炭紀における動植物の陸上への進出について紹介し、後半は主に九州の最新のデータに基づいて中生代、特に白亜紀後期の恐竜などを中心とする陸生動物相と中生代の海洋革命（Mesozoic Marine Revolution）について紹介します。

【到達目標】
顕生累代における生物の出現や放散，絶滅および大量絶滅とその後の回復過程などについて具体的な例を説明することができる。

【授業テーマ】
第1回 イントロダクション：地質時代と国際標準模式層断面および地点（GSSP）
第2回 カンブリア紀の有殻微小化石動物群（SSF）とカンブリア紀爆発
第3回 古環境の復元方法
第4回 オルドビス紀における海生動物の放散と節足動物と脊類による陸へ進出
第5回 初期陸生植物と昆虫の放散
第6回 デボン紀後期～末期の大量絶滅および絶滅事変
第7回 中生代の海洋変革（MMR）
第8回 日本列島最後の恐竜：甑島列島の白亜紀後期～末期の脊椎動物化石

【受講前の準備学習等】
シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。

【成績評価の方法】
成績評価は、授業中の学習状況及び試験の評点により行います。

【教科書】
授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2698293	授業概要	【授業内容】 フレイルは、健康と健康悪化（要介護状態）の境界に位置しており、適切な予防や対策によって改善が可能であることが特徴的です。高齢者の健康悪化は「年だからしょうがない」と諦めてしまうことがありませんか。本当に“しょうがない”のでしょうか。老年期に起こりやすい健康障害をテーマに選定し、諦める前にできることについて授業で具体的に学んでいきます。老年期の健康は個別性が高く、老年期までの生活習慣や健康状態、そして環境が関係します。すなわち、高齢者の人生に直接的にかかわります。老年期の健康支援では、専門職は“高齢者がこれまでどのような生活を送ってきたのか、いまどのような思いで生活されているのか、そしてこれからどのような人生を過ごしたいのか、傾聴し、支援の方向性を高齢者や家族とともに考えます。 【到達目標】 フレイルサイクルを理解できる。 高齢者に特徴的なフレイルとフレイル予防のための必要な支援について説明できる。 【授業テーマ】 第1回 高齢者の健康と生活の多様性 第2回 高齢者のヘルスプロモーション①予防、フレイルサイクル 第3回 高齢者のヘルスプロモーション②社会参加、コミュニケーション（ヒアリングフレイル） 第4回 高齢者のヘルスプロモーション③食生活・活動支援（サルコペニア、オーラルフレイル、ロコモティブシンドローム） 第5回 高齢者のヘルスプロモーション④活動・休息支援（特に、睡眠パターン、睡眠障害） 第6回 高齢者のヘルスプロモーション⑤排泄支援（排尿障害、排便障害、腸内環境） 第7回 高齢者のヘルスプロモーション⑥認知症（認知症予防、認知症になっても安心して暮らせる社会 第8回 高齢者のヘルスプロモーション⑦認知症と地域共生社会、まとめ 【学生へのメッセージ】 担当教員は、これまで老年看護学の教育・研究に携わってきました。この授業では、授業テーマに沿って実践経験をふまえたお話しをしてまいります。老年期は私も経験したことがないステージですので、高齢者から生活史を聴かせていただく機会を意識的につくりながら対象理解を深めています。高齢者が歩んできた道は、私たちが歩む道でもあります。高齢者が健康で、尊厳を保ちながら生活することを支援するために、私たちにできることは何か、一緒に考えていきましょう。 【受講前の準備学習等】 シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	熊本学習センター		
学習センターコード	43A		
クラスコード	K		
科目名	**高齢者のヘルスプロモーション**		
科目区分	専門科目：生活と福祉		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	ナカムラ　サツキ 中村　五月 熊本大学生命科学研究部准教授		
日程 実施時間	11月7日(土) 第1時限　10:00～11:30 第2時限　11:40～13:10 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～17:10 11月8日(日) 第1時限　10:00～11:30 第2時限　11:40～13:10 第3時限　14:00～15:30 第4時限　15:40～16:25 試験・レポート等　16:25～17:10		
実施会場	熊本学習センター		【受講者が当日用意するもの】 パソコンでレポートを作成したい方はパソコンおよびUSBメモリを持参してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2698285	授業概要	【授業内容】 ＜この授業は英語で行います。英語で初級～中級レベルの日常会話ができる方を対象としています。＞ 異なる文化的背景をもつ人々とコミュニケーションを行ううえで、言語理解は重要な要素ですが、それだけでは十分ではありません。本授業では、文法・語彙・発音といった言語面の学習を超え、文化的気づきを高める実践的なアプローチを通して、異文化間コミュニケーションを円滑に行うための考え方や方略を学びます。 【到達目標】 本授業を通して、効果的な異文化コミュニケーションを支える主要な理論・概念・戦略について、実践的かつ応用的に理解できるようになる。さらに、抽象的な枠組みの理解にとどまらず、これらの知見を学術的場面、職業的場面、日常的な場面など、文化的背景の異なる人々との実際のやり取りの中で活用できるようになる。 【授業テーマ】 第1回 始めよう！異文化交流シミュレーション 第2回 異文化コミュニケーション能力の基礎 第3回 文化的知性（Cultural Intelligence）：知識基盤の構築（その1） 第4回 文化的知性（Cultural Intelligence）：知識基盤の構築（その2） 第5回 コミュニケーション意欲（Willingness to Communicate）の理解 第6回 異文化コミュニケーションの実践戦略 第7回 スモールトーク：小さな会話が大きな意味を持つ 第8回 まとめ 【学生へのメッセージ】 本授業は実践的な応用を重視しており、さまざまなアクティブラーニング活動を取り入れています。これらの活動への積極的な参加は、学びを深め、本授業で扱う力を身につけるうえで重要な要素となります。 【受講前の準備学習等】 異文化体験についての振り返りを促し、授業活動への準備となる短いライティング課題に取り組みます。なお、シラバスの内容から判断して自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	熊本学習センター		
学習センターコード	43A		
クラスコード	K		
科目名	**実践的異文化コミュニケーション**		
科目区分	基盤科目：外国語		
ナンバリング	120		
定員	40名		
担当講師	シムズ　ランダー　ブライアント（シムズ　ランダー　ブライアント） 熊本大学大学院人文社会科学研究部講師		
日程 実施時間	12月5日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月6日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	熊本学習センター		【受講者が当日用意するもの】 英和辞書（紙、電子は問わない）を持参してください。最終レポートは、原稿用紙を配りますので、手書きで構いません。パソコンでレポート作成をしたい方はパソコン及びUSBメモリを持参してください。 【教科書】 授業当日にプリントを配付します。
			【その他（特記事項）】 この科目は2009～2015年度「共通科目：外国語」に該当します。

科目コード	2698323	授業概要	【授業内容】 沿岸域の生物多様性と水産資源の現状を有明海・八代海を中心に解説します。沿岸域は、内陸に比べると気候が温暖で、農業・漁業ともに生産性の高い地域です。しかし、海岸から60km以内の地域に世界人口の4 分の3 が生活するなど、人間活動の影響が大きいため、資源の枯渇、有害物質の蓄積、生物多様性の低下など、多くの問題が起きています。このような環境の悪化は、特に閉鎖性海域で著しく、国内でも、東京湾・伊勢湾・瀬戸内海・有明海・八代海などで大きな問題となっています。 【到達目標】 ・環境や生物多様性に関する情報を断片的ではなく、総合的に把握することができる。 ・環境や生物多様性に関するデータ（特に図表）の意味を正確に理解することができる。 ・正確な情報を元に沿岸域の環境問題や生物多様性が議論できる。 【授業テーマ】 第1回 生物多様性とは何か 第2回 生物多様性を守るために 第3回 沿岸域の環境ー潮間帯を中心にー 第4回 干潟・転石・岩礁 第5回 沿岸域の生物多様性 第6回 有明海・八代海の環境と生物 第7回 二枚貝の生物学と保全ーアサリ・ハマグリを中心にー 第8回 熊本県の特徴的な生きもの：研究紹介 【学生へのメッセージ】 沿岸域は、距離的には身近な環境ですが、訪れることの少ない環境なのかも知れません。講義では、有明海・八代海を中心に、沿岸域で起きている問題を取り上げ、受講生の身近な環境問題と関連させて議論します。 【受講前の準備学習等】 環境問題、生物多様性やSDGsに関する情報は、新聞やWebなどで豊富に得ることができます。シラバスの内容から判断して、関連する内容の自己学習に努めてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	熊本学習センター		
学習センターコード	43A		
クラスコード	K		
科目名	**沿岸域の生物多様性と水産資源**		
科目区分	専門科目：社会と産業		
ナンバリング	320		
定員	30名		
担当講師	ヘンミ　ヤスヒサ 逸見　泰久 熊本大学名誉教授		
日程 実施時間	12月12日(土) 第１時限 10:00～11:30 第２時限 11:40～13:10 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～17:10 12月13日(日) 第１時限 10:00～11:30 第２時限 11:40～13:10 第３時限 14:00～15:30 第４時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	熊本学習センター		【教科書】 授業当日にプリントを配付します。

科目コード	2698358	授業概要	【授業内容】 日本の「江戸時代」において200年間以上にわたって継続した平和状態（「天下泰平」）は、世界史的にみても稀有な現象であり、この間、日本の社会は経済や文化・思想の面で大きな発展をみたことが知られています。しかし、その時代の直前の「戦国時代」までは、あたかも戦乱が日常ともいうべき社会状況でした。 ほぼ西暦1600年頃を境とした「戦国から平和へ」という日本歴史の大転換は如何にして可能となったか、従来の学説（教科書）を批判しながら、その理由を戦国時代の側から考察し、理解していこうと思います。 【到達目標】 「天下泰平」が実現された歴史的条件について、日本近世史研究の通説を批判的に検討する観点に立って、仮説を示すことができるようになる。 【授業テーマ】 第1回 戦国時代の社会とは 第2回 内戦の中世戦国時代の三つの戦争 第3回 内戦から泰平への転換をどう捉えるか 第4回 戦場の社会史 第5回 平和状態と領域秩序の創出 第6回 戦場の村々の営み 第7回「豊臣平和令」と「天下泰平」 第8回「天下泰平」を支えた力 【学生へのメッセージ】 この授業を通じて、日本社会の歴史の世界史における特殊性、それを踏まえた平和主義の未来への可能性について考えてほしいと思います。 【受講前の準備学習等】 参考図書にあげた書物に目を通してきてください。 【成績評価の方法】 成績評価は、授業中の学習状況及びレポートの評点により行います。
学習センター	熊本学習センター		
学習センターコード	43A		
クラスコード	K		
科目名	**戦国時代論**		
科目区分	専門科目：人間と文化		
ナンバリング	320		
定員	54名		
担当講師	イナバ　ツグハル 稲葉　継陽 熊本大学永青文庫研究センター教授		
日程 実施時間	12月19日(土) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～17:10 12月20日(日) 第1時限 10:00～11:30 第2時限 11:40～13:10 第3時限 14:00～15:30 第4時限 15:40～16:25 試験・レポート等 16:25～17:10		
実施会場	熊本学習センター		【受講者が当日用意するもの】 筆記用具等通常の受講準備をしてきてください。 授業はその都度配布するプリント等を用いて展開します。 【教科書】 教科書は使用しません。 【参考書】 ・新版雑兵たちの戦場ー中世の傭兵と奴隷狩り（藤木久志／朝日新聞出版／¥1,430／ISBN=9784022598776） ・刀狩り―武器を封印した民衆―（藤木久志／岩波書店／¥1,166／ISBN=9784004309659） ・村と民衆の戦国時代史―藤木久志の歴史学―（稲葉継陽・清水克行編／勉誠社／¥3,300／ISBN=9784585325222） ・細川家史料と史跡が伝える近世初期キリシタンの信仰と逡巡―禁教をめぐる群像（稲葉継陽編／勉誠社／¥3,850／ISBN=9784585320913）